

著書紹介

Academic Library

著者自らが新刊を紹介します。

「計算科学講座10— 超多自由度系の新しい 科学—」

人間情報学部助教 佐々木
尚(共著)(監修:金田行雄・笹
井理生、編:笹井理生)

▶A5判/323ページ/
共立出版/4,000円+税
/2010.11.30発行

▶本講座は、計算科学の基盤分野と応用展開分野の密接な連携を軸にして計算科学を体系的に解説し、その最前線を展望する。著者は第10巻の第4章「計算機によって理論を発見する」の第1節「タンパク質の論理」を笹井理生、伊藤一仁と共同執筆した。



「夢を見るために毎 朝僕は目覚めるので す—村上春樹インタ ビュー集 1997- 2009」(村上春樹著)

文学部教授 平林美都子
(インタビューの一つを
Jonathan Ellisと担当)

▶A5判/541ページ/文藝
春秋/1,800円+税/2010.9.30発行

▶13年間にわたる国内外でのインタビュー集。平林とEllisが2004年8月、青山のオフィスと大磯の自宅で行ったインタビューも収録されている。(初出 The Georgia Review, Fall, 2005)



「誰も知らない印象 派—娼婦の美術史」

メディアプロデュース学
部教授 山田登世子

▶A5判(ムック)/107
ページ/左右社/1,800
円+税/2010.10.10発
行

▶「水と光の美しい風景」というイメージの定着した印象派だが、モネやルノワールの描いた女はいったいどんな女たちだったのだろうか。当時の風俗史からその生態に迫って、印象派の見方を覆す。美術の社会史の試み。図版多数。

